中とし

白山下　一茶庵

ひさころ断く深もくつろけハ
例の愛おもあるまゝおもてひて

是ゝハ桜ひも廣ー　きえゝ　奇風

いつこしはしー　世代の古月　以元

胸六ゝ強もさゝちの名ゝれて　竜水

春興

湯ゝや茶ゝ遠いもゝ竜の甲　和花

おもしのゝ味や竹葉もつきゆく　竜水

ゆくゝ丁の多ハかくもも夕寒　止文

くてゝるゝもゝてゝ　星花

梅さくゝや日ゝ　和同

強ゝ者ハ帝のもゝゝ後月　芝風

海原ハ白帆もえて生原る　以之

桜ひ連れゝ田ゝのうゝ　仏志

岩ゝや傳ハ牛の面ゝ　陵鶴

題

ゝ生の春とハゝりゝ　梅の月　有邑人